

イノベーションを止めない、時代に合わせた現場管理

研究開発・ものづくりに必要な安全教育と対策

日時	案内メール、HP をご覧ください。	会場：WEB 配信方式
受講料	税抜き 49800 円（税込み 54780 円）、テキスト付 & 主催講座特典	
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹	
受講対象 ・研究開発部門の責任者・管理者 ・安全管理者、担当者、安全教育に携わる方 ・研究者、技術者 など		得られる知識、スキル ・ヒヤリハットを減らす“組織的リスク管理” ・現場に根づく「安全文化」の育て方 ・実践的な安全教育手法 など
概要 「安全第一」安全は全てに優先するとはどの企業、現場でも言われていますが、現実には納期、コスト、効率という言葉が上塗りされ、事故やトラブルが起きています。特にものづくりは危険と隣り合わせであり、その中でも研究開発の現場は日々非定常作業の連続で危険が受け入れられてしまっています。 ものづくりや「研究開発」の現場は、複雑化・高度化の一途をたどっています。従来の画一的な安全教育では、刻々と変化するリスクに対応しきれません。一方で、人員不足、時間不足、予算不足で十分な安全教育ができていません。そして、時代と共に人の意識も変化し、全てを教えられて当然、駄目と言われていないことはやっても良い、説明しない方が悪いといった風潮が蔓延しています。 本セミナーでは、安全教育の本質を押さえつつ、時代に合わせた、そして、イノベーションを止めないものづくり、研究開発の現場に則した安全教育について豊富な演習を交えて解説します。		
【安全と研究開発】 安全の基本とものづくり、研究開発の現場との関係について解説します。 【研究開発における危険】 ものづくりの現場、特に研究開発の現場を中心にどのような危険が潜んでいるかについて、見落としがちなものも含めて解説します。 【ヒヤリハットと対策事例】 実際のヒヤリハット事例紹介しながら、その原因と対策について解説します。 【時代の変化】 時代共に変化する社会や人の意識、考え方、基準について、何が変わってきたのか、どう変わったのかについて解説します。 【ヒューマンエラーの本質】 どれだけ教育しても、どれだけルールを決めても残念ながらゼロにはならないミスを理解して回避するためのヒューマンエラーの本質について解説します。		【ではどうするか】 安全教育の要と言え、事故やトラブル、ミスを無くし、現場の安全を実現できるかを決める安全対策について解説します。 【ルールのポイント】 安全教育、安全対策で欠かすことができないルールについて、その制定と運営のポイント、注意点について解説します。 【その他のポイント】 ここまでで述べてこなかったいくつかのポイントについて解説します。 【KYT事例と演習】 4 ラウンドを含めて、実際の事例を紹介しながらKYTを行います。 【まとめ】と質疑 詳細は、HP をご覧ください
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>

e-mail : haru777@star.email.ne.jp